

	専攻	講座数	講座
文学研究科	文化科学 言語科学 歴史科学 人間科学	5 3 6 5 1	日本文化学、中国文化学、インド文化学、西洋文化学、哲学 言語学、日本語学、日本語教育学 日本史学、東洋史学、ヨーロッパ史学、美術史学、○比較文化史学、※文化財科学 社会学、行動科学、心理学、人間文化科学、○科学技術社会論 ○実践宗教学
教育学研究科	総合教育科学 教育設計評価	5 1	人間形成論、教育政策科学、成人継続教育論、教授学習科学、人間発達臨床科学 教育設計評価
法学研究科	総合法制(法科大学院) 公共法政策(公共政策大学院) 法政理論研究(研究大学院)	3 2 3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論 行政法政策、ガバナンス研究 トランシナショナル法、グローバル政治分析、グローバル法文化分析
経済学研究科	経済経営学 会計専門職(会計大学院)	8 4	経済基盤、経営基盤、現代経済、システム科学、現代経営、医療福祉、地域政策、 グローバルシステム 会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理
理学研究科	物理学 天文学 地球物理学 化学 地学	5 16 2 7 10 7	代数学、幾何学、解析学、多様体論、応用数理 量子基礎物理学、素粒子・核物理学、電子物理学、量子物性物理学、固体統計物理学、相関物理学、 領域構断物理学、○原子核理学、○高エネルギー物理学、○結晶物理学、○金属物理学、 ○分光物理学、○核放射線物理学、※加速器科学、※強相関電子物理学、※量子計測 天文学、理論天体物理学 固体地球物理学、太陽惑星空間物理学、流体地球物理学、地球環境物理学、○地殻物理学、 ○惑星圈物理学、※固体地球物理学 無機・分析化学、有機化学、物理化学、境界領域化学、先端理化学、○生体機能化学、 ○化学反応解析、○固体化学、※分離化学、※重元素化学 地圖進化学、環境地理学、地球惑星物質科学、環境動態論、比較固体惑星学、※地圖物質循環学、※地球内部反応
医学系研究科	医学 障害科学 保健科学	39 3 6	細胞生物学、生体機能学、病理病態学、内科病態学、発生・発達医学、外科病態学、 神経・感覚器病態学、社会医学、○医用動物学、○加齢制御学、○腫瘍制御学、○加齢脳科学、 ○サイクロトロン核医学、※分子・神経イメージング、※がん医科学、※先進成育医学、 ※がん生命科学、※地域精神医療、※先進循環器医学、○先進漢方治療医学(ツムラ)、 ○造血管病理学、○循環器先端医療開発学、○多発性硬化症治療学、○循環器EBM開発学、 ○ナノ医科学、○中心血圧研究、○視覚先端医療学、○創薬科学(持田製薬)、○統合癌治療外科学、 ○血液分子治療学、○大動脈疾患治療開発学、○周産期医療人材養成、○感染症診療地域連携、 ○上肢運動器学、○予防精神医学、○網膜疾患制御学、○統合腎不全医療、○宮城地域医療支援、 ○小児科医師育成 機能医科学、○高齢者高次脳医学、○先進感染症予防学 基礎・健康開発看護学、家族支援看護学、医用情報技術科学、生体応用技術科学、基礎検査医科学、 臨床検査医科学
歯学研究科	歯科学	11	口腔生物学、口腔機能形態学、口腔修復学、口腔保健発育学、口腔病態外科学、顎口腔創建学、 ○口腔腫瘍病態学、※口腔免疫病態制御学、※長寿口腔科学、○生体適合性計測工学、 ○次世代歯科材料工学
薬学研究科	分子薬科学 生命薬科学 医療薬学	4 2 4	分子制御化学、分子解析学、○分子動態解析学、※分子イメージング薬学 生命解析学、生命情報薬学 医療薬学、○病態分子薬学、○医薬開発構想、○地域薬局(オオノひかり薬局)
工学研究科	機械システムデザイン工学 ナノメカニクス 航空宇宙工学 量子エネルギー工学 電気エネルギー工学 通信工学 電子工学	7 7 6 11 4 4 7	知能システム工学、先進機械システムデザイン工学、知的デザイン学、エネルギーシステム工学、 ○破壊機構学、○知能流体システム学、○多元物質応用システム工学 ナノシステム工学、先進ナノメカニクス、材料メカニクス、ナノテクノロジー、○破壊予知学、 ○ナノ流動学、○表面ナノ物理計測制御学 航空宇宙システム工学、先進航空宇宙工学、シミュレーション科学、スペーステクノロジー、 ○航空宇宙流体工学、※将来宇宙輸送工学 先進原子核工学、原子核システム安全工学、エネルギー物理工学、粒子ビーム工学、 ○エネルギー材料工学、○エネルギー化学工学、○量子物性工学、○加速器放射線工学、 ※分子イメージング工学、※核融合炉システム工学、※核融合炉材料工学 エネルギーデバイス工学、電気エネルギー工学、○情報エネルギー工学、 ○先端電力工学(東北電力) 知的通信ネットワーク工学、通信システム工学、波動工学、○伝送工学 超微細電子工学、電子制御工学、物性工学、電子システム工学、○電子デバイス工学、 ○電子材料工学、○極限表面制御工学

	専 攻		講座数	講 座
工学研究科	応用物理学	5		応用界面物理学、応用物性物理学、応用材料物理学、○低温電子材料物性学、○電子・分光計測学
	応用化学	4		原子・分子制御工学、環境資源化学、分子システム化学、○反応設計学
	化学生工学	4		プロセス解析工学、プロセス要素工学、プロセスシステム工学、○反応分離プロセス
	バイオ工学	4		応用生命化学、生体分子化学、生体機能化学、○生物有機化学
	金属フロンティア工学	5		金属プロセス工学、創形創質プロセス学、先端マテリアル物理化学、○プロセス設計学、○プロセス制御学
	知能デバイス材料学	6		材料電子化学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、○ナノ構造物質工学、○物質機能創製学、○材料表面機能制御学
	材料システム工学	5		接合界面制御学、マイクロシステム学、生体材料システム学、○物質構造評価学、○材料機能制御プロセス学
	土木工学	6		数理システム設計学、基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学、○環境機能利用工学(三菱マテリアル)
	都市・建築学	4		都市・建築デザイン学、都市・建築計画学、サステナブル空間構成学、建築構造工学
	技術社会システム	2		実践技術経営融合、先端社会工学
農学研究科	バイオロボティクス	7		バイオマイクロマシン工学、バイオデバイス工学、先進バイオロボティクス、バイオメカニクス、ロボティクス、○損傷計測学、○知的メカノシステム工学
	資源生物学	7		植物生産科学、動物生産科学、水圏生物生産科学、資源環境経済学、○沿岸生物生産システム学、○栽培植物環境科学、○資源環境政策学
	応用生命科学	7		環境生命科学、動物機能科学、動物機能科学、分子細胞科学、○応用遺伝子工学、○家畜福祉学、○環境保全型牛生産技術開発学(アレフ)
国際文化研究科	生物産業創成科学	5		微生物機能開発科学、食品機能健康科学、天然物生物機能科学、生物産業情報科学、※蛋白質機能開発
	国際地域文化論	5		アジア文化論、ヨーロッパ文化論、アメリカ研究、イスラム圏研究、比較文化論
	国際文化交流論	7		言語コミュニケーション論、国際経済交流論、科学技術交流論、国際環境システム論、○言語文化交流論、○異文化間教育論、○国際資源政策論
	国際文化言語論	4		言語科学基礎論、多元文化論、言語応用論、言語教育体系論
情報科学研究科	情報基礎科学	9		情報基礎数理学、情報応用数理学、計算科学、ソフトウェア科学、○情報論理学、○コミュニケーション論、○超高速情報処理論、○情報セキュリティ論、○広域情報処理論
	システム情報科学	9		システム情報数理学、知能情報科学、生体システム情報学、知能ロボティクス学、○音情報科学、○高次視覚情報学、○情報コンテンツ学、○融合流体情報学、○ソフトウェア構成論
	人間社会情報科学	6		人間情報学、社会政治情報学、社会経済情報学、人間社会計画学、メディア情報学、○コミュニケーション心理学
	応用情報科学	8		応用情報技術論、応用生命情報学、○情報通信ソフトウェア学、○情報ネットワーク論、○流動システム情報学、○ブレインファンクション集積学、○健康情報学、※複雑系統計科学
生命科学研究科	分子生命科学	3		生命有機情報科学、遺伝子システム学、○生体機能分子科学
	生命機能科学	4		細胞機能構築統御学、脳機能解析構築学、○海洋生物学、○分化制御学
	生態システム生命科学	5		環境遺伝生態学、進化生態学、○植物構造機能進化学、○地域生態学、※ゲノム生態学
環境科学研究科	環境科学	16		都市環境・環境地理学、国際環境・地域環境学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資源循環プロセス学、環境創成計画学、○地殻環境システム創成学、○東北アジア地域社会論、○東北アジア地域文化論、○環境材料物理化学、○環境システム材料学、※環境適合材料創成学、※地球環境変動学、※環境リスク評価学、※バイオエコマネジメント学、○環境物質制御学(DOWA ホールディングス)
	医工学	10		計測・診断医工学、治療医工学、生体機械システム医工学、生体再生医工学、社会医工学、○生体流動システム医工学、○人工臓器医工学、○生体材料学、○生体システム制御医工学、○生体情報システム学
教育情報学教育部	教育情報学	3		IT 教育デザイン論、IT 教育ネットワーク論、○ IT 教育システム論
	教育情報学	5		IT 教育システム原論、IT 教育認知科学、IT 教育アーキテクチャー、IT 教育応用実践論、△比較 IT 教育論
専門職大学院	法科大学院	3		現代市民法、現代企業法、比較法社会論
	公共政策大学院	2		行政法政策、ガバナンス研究
	会計大学院	4		会計、経済と経営、IT と統計、法と倫理

注) ○は協力講座を、※は連携講座を、◎は寄附講座を、△は客員研究部門を表す。